

タイの陶芸家が笠間陶芸大学校に入学

タイ・メーファールワン財団の陶芸家、ティッパワン・ドゥアンドクムン（通称・ユウ）さんが4月6日、笠間市にある茨城県立笠間陶芸大学校に研究生として入学しました。約1年間笠間市に住み、笠間焼の伝統技法やマカダミアナッツの殻を使った釉薬の研究に取り組んでいきます。

メーファールワン財団は、ドイツプロジェクトとして、かつて麻薬密造地帯だったタイ北部のゴールデンライアングル地域の麻薬撲滅運動に取り組み、コーヒー豆やマカダミアナッツなどを生産し、タイ北部の少数民族に生活の糧を得る活動を展開。陶芸もその活動の一環で、公益法人・茨城国際親善厚生財団（IIF）が笠間焼の産地、笠間市とメーファールワン財団の中を取り持ち、平成27年に笠間市と陶芸の協力に関する覚書を締結しました。

ユウさんは、笠間市からタイに派遣された笠間焼陶芸家に学ぶとともに、その翌年から2回、笠間の陶炎祭に来日、笠間焼の産地視察を行ってきました。

今回、より専門的に研究するため、笠間市の招きで同大学校に入学することになりました。また、笠間市では若手陶芸家育成のための工房と販売所を併設した



笠間陶芸大学校の入学式で金子賢治校長ら講師陣と記念撮影するユウさん



山口伸樹・笠間市長にスタジオ・ニドを案内してもらおうユウさん

「笠間陶芸修行工房 スタジオ・ニド」を4月5日に開所。ユウさんにも自由に使って研究を深めてほしいとの申し出もありました。

ユウさんは6日、同大学校の入学式で、陶芸学科と研究家の新入学生12人と一緒に入学式に出席し、研究生としての生活のスタートを切りました。

平成30年4月7日



スタジオ・ニドを見学するユウさん